

# 人材確保等支援助成金

雇用管理制度助成コース（研修制度）

## 助成金の活用事例集

助成金の詳細・問合せ先



令和5年3月22日

# 事例 1 : 税理士業 税理士法人 A 会計

## 事業所概要

【従業員】	10 人
（内訳）	正規 7 人、嘱託・パート 3 人
【創業】	平成 28 年（法人化）
【売上高】	令和 3 年度 9,500 万円



## 基幹事業の状況

- 現在の従業員は10人（正社員 7 人、嘱託・パート 3 人）。
- 主な業務は、決算・申告書の作成、記帳代行、税務相談、新規開業手続、事業承継手続等の税理士業務。
- ここ数年の売上は安定している。

## ① 雇用管理上の課題の状況

- 新卒採用は大学のキャリアセンター、中途採用はハローワークを利用しているが、近年は応募者が少なく、人材の確保に苦労している。
- 正社員は税理士資格の取得を最終的な目標にしているが、毎年行われる税制改正をはじめとした日々の実務に必要な知識や技能の習得が優先され、税理士試験の学習は後回しにせざるを得ないため、税理士資格取得のモチベーションが維持しづらいこと、決算が集中する時期は残業が多くなってしまうことが職場定着への課題となっている。

## ② 課題への対応（導入した制度）

### 研修制度

- これまで勤務時間外に従業員の自主性に任せていた実務に必要な知識・技能の習得を業務時間中にできるよう、職務別研修制度を導入した。
- 従業員により、必要とされる知識・技能がそれぞれ異なるため、研修機関が送ってくる研修案内の中から、従業員の日々の業務にとって必要となる内容の研修や、従業員の目標に応じた内容の研修を選び、実施した。
- 実施した研修は「生命保険の契約と税務」「短期速習税務実務」「民法改正に伴う相続税改正」「令和 2 年税制改正」など。

## ③ 制度導入の効果

### 研修制度

- 研修により、従業員の知識が深まり、短時間かつ正確に顧客に説明できるようになるなど、従業員 1 人 1 人の仕事の質が向上した。
- 実務知識の研修を勤務時間中に実施することで、税理士科目合格のための学習時間や余暇を確保できるようになり、従業員のモチベーションが向上した。

### その他

- 業務時間外における自主的な学習への時間的・経済的負担を軽減させることができ、業務の質も向上したことから、今後も研修制度を実施していきたい。
- 今後は、資格手当の創設や、自発的な学習への経費補助制度の導入など資格取得への支援を行うことで、職場定着を図っていきたい。

# 事例2：教育・学習支援業 社会福祉法人 寿光福祉会

## 事業所概要

[従業員] 76人  
(内訳) 正規41人、有期・パート35人

[創業] 昭和26年

[売上高] 令和3年度 5億円



## 基幹事業の状況

- ・ 幼保連携型認定こども園
- ・ 一時預かり保育事業・放課後児童育成クラブ
- ・ 障害児保育・療育支援保育・地域活動支援事業

## ① 雇用管理上の課題の状況

- ・ 業界全体的に保育士不足が続いており、保育士（保育教諭）の新規採用が難しい。
- ・ 3年以内の離職率を抑えるために初任給に加算をつけて定着を図ろうとするが、社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーションの取り方に関して、つまづくことが多い。
- ・ 内向的あるいは外向的な感情をもつ様々な職員がいるなかで、業務の性質上、感情のコントロールやより質の高いチームビルディングが求められる中、対応できる技術力を指導・向上・継承する場が必要である。

## ② 課題への対応（導入した制度）

研修制度  
(ナーサリー  
コーチング)

- ・ 対象は、在籍する全職員とし、1人合計10時間の研修を受講。研修方法は、一部の職員が受講して、他の職員に復命書を回覧する方法ではなく、同じ研修を、グループに分けて対面式で受講することとした。
- ・ 研修内容は、こどもへの言葉かけのワークショップや自己性格分析等がプログラムされている。

## ③ 制度導入の効果

研修制度  
(ナーサリー  
コーチング)

- ・ グループごとに対面式の研修としたことにより、「ティーチング（導く技術）」の違いを学ぶ事ができた。さらに、ワークショップや性格分析を行う過程で、他の職員と対話しながらコミュニケーションを図りつつ、自分自身を知ることができる内容となった。
- ・ 職員数が多いと、普段なかなかコミュニケーションが取れない職員が出ていた。しかし、ナーサリーコーチング研修の導入で、自分の価値観や考え方について、他のセクションの職員とも対等に会話することにより、相手がどのような考え方や価値観基準を持っているのかを知ることができるようになった。その結果、チームを組んで保育をする場面においても、安心感と信頼感を持って仕事をすることができ、アサーティブなコミュニケーションを取れるようになった。